

WebBrowserコントロールを利用した TCP/IP プログラム

ここでは、Microsoft Web Browser Control (WebBrowserコントロール、ファイル名：shdocvw.dll) を利用した簡単なプログラムを作成します。

WebBrowserコントロールは、Internet Explorer 4.x以降が組み込まれていると使用可能となるコントロールで、簡単にWebページを操作できます。

6.1 WebBrowserコントロールの追加と概要

WebBrowserコントロールの追加は、これまでに解説したInetコントロールなどと同じ方法で行います。詳細は、第4章などを参考にしてください。図6.1、図6.2にその一部を示します。

WebBrowserコントロールのプロパティ、メソッド、イベントは、表6.1(章末)を参照してください。他の多くのコントロールに比べると、複雑な機能はないように思います。

メソッドの中には、Internet Explorerの戻る、進む、更新、ホーム、検索の各ボタンに対応したものがあり、簡単にInternet Explorerのような機能を実現できます。

注意が必要なのは、更新の処理で再度読み込むページがないときなどのエラー処理を作り込む必

図6.1 WebBrowserコントロールの追加

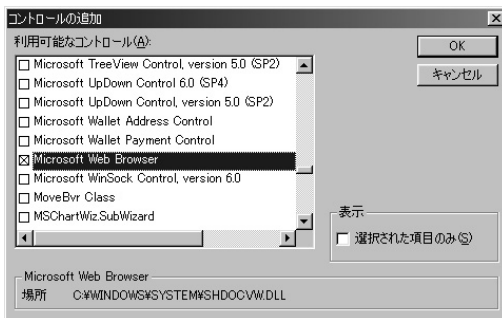


図6.2 WebBrowserコントロールを追加したツールボックス

